

事業番号	02 04 01	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	地域情報化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	先端技術活用推進課
		実施期間	H24 ~	E-mail	sentan@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		3-7 先端技術の積極的な活用・導入		
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ○長野県DX戦略戦略（令和2年7月策定）に基づき、Society 5.0時代を見据えて、県全域のDXを行うことで5Gなどのインフラ整備を促進し、長野県を、県民や地場企業に加えて、県外の人や企業にとっても魅力的な地域にすることに資する。 <b>【これまでの取組】</b> ○未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するため、若年層向けのアプリケーションコンテスト及びハッカソンを大学、民間企業等と連携して開催。 ○先端技術を活用し、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するため、AIを活用したデマンドシステムによる実証事業を実施。						
	令和2年度点検結果 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要</td> <td>・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施</td> </tr> <tr> <td>・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要</td> <td>・デマンドシステムの実証事業を通して、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するための交通サービスの在り方について検証を引き続き実施</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要	・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施	・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要
課 題	今後の方向性						
・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要	・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施						
・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要	・デマンドシステムの実証事業を通して、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するための交通サービスの在り方について検証を引き続き実施						

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<b>関係部局と連携して、長野県DX戦略の具体化を加速化するため以下の取組を実施。</b> <b>✓ DX推進体制強化</b> DX推進体制強化のため、ICTに関する最新かつ専門的な知識を有する調査会社等から助言・調査会社等からの助言・指導業務を委託
	<b>✓ デジタル相談窓口構築</b> 県民と企業の皆さまに対して、的確な情報発信と時間や場所にとらわれない相談対応を行うため、必要なシステムの構築及び運用 ・県公式Webページなどにおいて、AIを活用した相談チャットボットの構築・運用
	<b>✓ デジタル人材の育成・誘致</b> 多様なIT人材の育成・誘致のため、県内各地のIT関連の人材育成団体に対し、5Gを活用して互いに連携できる機会を提供するとともに、その取組を全国に発信します。 ・各地域で活動するIT関連の人材育成団体が相互連携できる機会の提供 ・デジタル人材育成応援イベント「Nagano Fledge」の開催

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	デジタル相談窓口利用件数	-	-	-	3,650		予算額	0	0	要求 35,553 予算案 -
2	各地域で活動する取組と連携したイベント延べ参加者数	-	-	-	450			当初予算	2,657	90,485
3	NaganoFledge延べ参加者数	-	-	-	1,500			補正予算	9,164	12,479
4	(参考指標) アプリコンテスト参加応募作品数	68件	74件	↑	119件			↑	-	-
5	(参考指標) ハッカソン参加人数	-	17人	-	-		合計(A)	11,821	102,964	要求 28,394 予算案 -
6	(参考指標) 実証によるデマンドシステム利用者満足度	-	100%	-	-		うち一般財源	2,938	14,522	
7	(参考資料) 御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域	-	-	解消	-	決算額(B)	10,693			
成果指標設定理由							職員数(人)	7.0	7.0	7.0
1,2各地域で活動する5G取組及びNagano Fledgeのべ参加者数。 3デジタル相談窓口の利用件数を設定。 4,5未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するアプリコンテストの参加応募作品数及びハッカソンの参加人数を設定。 6実証によるデマンドシステムの有用性を評価するため、利用者満足度を設定。 7御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域の解消を設定。										

事業番号 02 04 01 事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検

事業名 地域情報化推進事業費 部局 企画振興部 課・室 先端技術活用推進課

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	D X 推進体制強化事業	0 千円	0 千円	要求 予算案 6,600 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	デジタルに関する専門人材を有する調査会社等からの助言・指導業務	委託	I C Tに関する最新かつ専門的な知識を有する調査会社等から助言・指導を受け、専門性の高い職員を育成

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	デジタル相談窓口構築・運用事業	0 千円	0 千円	要求 予算案 15,000 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	デジタル相談窓口構築事業	委託	県民と企業の皆さまに対して、的確な情報発信と時間や場所にとらわれない相談対応を行うため、必要なシステムの構築及び運用

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	デジタル人材育成・誘致事業	0 千円	0 千円	要求 予算案 12,318 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	デジタル人材育成応援イベント開催事業	委託	各地域で活動する I T 関連の人材育成団体が相互連携できる機会の提供及びデジタル人材育成応援イベント「N a g a n o F l e d g e」を開催

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
4	先端技術活用推進事業	1,720 千円	1,660 千円	要求 予算案 1,635 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	先端技術活用推進経費	直接	職員の旅費、事務消耗品等